（別紙３）

# 公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | くじらぐも（放課後等デイサービス） | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年1月15日 | ～ | 2026年1月31日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | ３３名（内きょうだい２名） | （回答者数） | |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年1月15日 | ～ | 2026年1月31日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 5名 | （回答者数） | ４名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月5日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 広い敷地に２つの事業所が隣接していること<br><br>児童発達支援から放課後等デイサービスへの継続的な支援をおこなっていること | 事業所間の利用者・支援者の交流を盛んに行っている<br>戸外活動の機会の確保（晴れていれば毎日）している<br><br>長期間の継続的な利用により慣れ親しんだ環境で安心して過ごすことができる居場所作りを行っている | 更なる環境の活用と整備 |
| 2 | 地域交流への取り組みに力を入れていること | 田植え体験<br>児童クラブとの交流<br>こども食堂との交流<br>地域在住防災士を招集し「こども防災教室」の開催<br>地域住民や学校あてに活動報告の配布（年３回） | 地域の方々を事業所に招き交流を深める |
| 3 | プログラムやイベントが充実していること | 個別支援計画と５領域に沿った小集団または個別の支援<br>外出、見学、体験、食育、手仕事など豊富なイベント活動<br>家族交流、きょうだい児交流の機会の提供<br>ペアレントトレーニングセミナーの開催（家族支援） | 情報収集、専門家の招集 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 障害児福祉の分野で経験のある職員が少ない<br>専門職の職員が少ない<br>職員のスキルに差がある | 障害福祉（児童）の認知度の低さ、アピール不足<br>社会全体の人手不足<br>経験年数や専門性の違いによる支援スキルの差 | 離職率を下げる取り組み<br>働きやすい職場環境の構築<br>人材育成<br>研修・資格取得へのサポート体制の整備 |
| 2 | 非常勤職員を含めた全職員で参加できる外部研修の機会の確保ができない | 週６日営業によるシフト（日曜日と平日１日の週休２日制）や非常勤職員の割合の多さ | 利用者の理解を得ながら研修日を設ける |
| 3 | 外部評価体制が整っていない | 創設から日が浅く、事業所内での支援の質を高めることを最優先としてきたため | 第三者委員に協力を仰ぎ、委員会を定期的に開催する |